

クリニックレター 2018年9月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

漢方でしか出来ないこと

今年の夏はこれまで経験したことのないような暑さが続きました。9月に入って少し気温も落ち着いてくるかと思いますが、夏の疲れがでるのはこれからです。漢方では“伏気”といって、夏の暑さや湿度が秋になって病気をひきおこすことに用心をするべきであると説いています。(クリニックレター2014年9-10月号に詳しく書いていますのでご参照ください) エアコン・半ズボン・素足・冷たい飲み物・・・などは早めにお別れしたほうが良いと思います。

さて、今回は“漢方でしか出来ないこと”をテーマとしてみました。考えてみるといっぱいありますよ。冷え性の改善、風邪の初期治療、ガンの免疫カアップ、気圧や天気の変化による頭痛・頭重感など、認知症に伴う幻聴・幻視、出産前後の不調、制酸剤の効かない胃痛、過敏性腸症候群に代表される便通異常、などなど挙げだしたらきりがありません。もちろん、西洋医学的な治療は、血圧やコレステロール値、血糖値の改善に確実な効果がありますし、ガン治療の進歩、膠原病などの免疫異常に対する生物学的製剤の開発などによって、これまで治らなかつた病気が治るようになったことは、手放して喜んでよいことだと思います。“病気を診断する・病気を治す”ということでは、日本は世界一かもしれません。だからこそ、平均寿命も世界でトップの座を守り続けているのだと思います。しかし、“病気でない”ことと、“体の不調がない”こととは違います。胃カメラやMRI検査では異常がなくても体の不調を自覚することはいくらかでもあります。これを“病気じゃないから”といって突き放すのは、その医者が“身体の本質”に迫ろうとしていない、自分で自分の目を閉ざしていることではないでしょうか。

漢方には、“気・血・水”という概念があります。体や心のエネルギーである“気”、栄養分を巡らす“血”、潤いを保持するための“水”の三つの要素が過不足なく体を巡っていることが健康な体を作っているのですが、これらが不足したり過剰になったりあるいは流れが悪くなると様々な症状をきたすようになります。そしてその病的状態が続くことで、病気となるのです。漢方ではこの、“病気になる前の状態”を“未病”と呼んでいます。未病の状態では、症状の自覚がないこともありますが、漢方では、脈や舌の診察を通じて、その未病の状態を探し出そうとするのです。診察室で私は脈の診察をします。これは、単に脈拍数をみているだけではなく、血管壁の緊張や柔らかさ、脈を打つ強さ、血液の流れの様子、皮膚から血管までの脂肪や水分の状態などを総合的に把握し、気血水の状態を診断しているのです。また、舌の診断も、舌の動き、色調、形、舌苔の色や厚さなどをみて診断の材料としています。そして、患者様が自覚するに至っていないような気血水の異常(未病の状態)を診断しています。

「漢方薬を処方する」だけであれば、医師免許を持ったものであれば誰でもできますし、いまや、ドラッグストアにも数種類の漢方を売っています。また、雑誌などでも「〇〇の症状にはこの漢方」などの特集があり、漢方が身近なものに感じられるようになって

いますが、本当に漢方の実力を発揮するためには、漢方の理論を熟知して診察をしっかりおこない、その方の体質や、症状として出ていない気血水の異常を察知して、適切な処方をおこなっていかねばならないのです。

それが、漢方の力をフルに発揮して、漢方でしかできない診療を可能にするのです。

グルコースモニタシステム FreeStyle リブレについて

糖尿病の方、血糖値が気になる方に、自分で血糖値を管理できる器械、FreeStyle(フリースタイル)リブレをご紹介します。

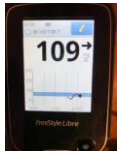
この装置は、直径35mm厚さ約5mmのセンサーを腕に貼り付けることにより、皮下の細胞間質中のグルコース(糖分)の値を継続的に測定することができるものです。これまで、血糖測定は採血や指先に針を刺しての測定方法しかありませんでしたが、この装置によって、痛みも手間もなく長期間の血糖値を連続的にモニターすることが可能になりました。今のところ、保険適応は1型糖尿病とインスリンを使用している2型糖尿病に限られますが、自分の血糖がどれくらいか、どうしたら血糖が上がり何を食べたら上がらないかを知りたい方にはとても役に立つ器械です。

自費で購入される際のお値段は、

センサー(1個で2週間測定可能)¥7,500(税別) モニター¥7,500(税別)です。

*モニターは最初の2週間に限り無料で貸し出しいたします。

患者さんにお勧めするにはまずは自分で試さなければ、と、私(西本)もこの文章を書いている前日から装着して試しています。面白いことに、昨夜カジュアルなイタリアンレストランでお腹いっぱいお肉やパスタを食べてお酒も飲んだのに血糖値はほとんど上がりませんでした。今朝は朝食にクロワッサンとブドウを食べただけなのに数値がかなり上がりました。痛み・違和感はまったく感じません。センサーを装着中のシャワー・入浴・水泳やゴルフなどの運動も可能とのことでした。



知っておくと役に立つ“経穴(ツボ)”の知識(その4) -湧泉(ウケン)-

ツボの位置: 足の土踏まずの前方で、5本の足指を曲げると窪む部位。

名前の由来: 人間が生まれながらに持った生命力の泉が湧き出るツボということで命名されました。そういえば、「押せば命の泉湧く」ってありましたね。(これわかる人は相当古い^^)

働き: 婦人科疾患、腰・下腹部・足にかけての冷えや痛み、のぼせなどに効き、また、全身的に体力が衰えるのを防いでスタミナをつける効果があります。(芹澤勝助:ツボ療法大図鑑より) 疲れた時に指で押ししたりゴルフボールを踏むのもよいかと思います。

クリニックレターのバックナンバーは当院 HP に載せています
HPへはこちらの QRS コードからどうぞ ⇒ ⇒ ⇒ ⇒



お車で来院される患者様へ

6月1日より、駐車場スペースを増やしました。なお、歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようにお願いします。駐車場で長時間のアイドリングもお控えください。